

みずほCustomer Desk Report 2016/09/01 号(As of 2016/08/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	103.19 AUD/USD
TKY 9:00AM	102.87	1.1150	114.71	0.9835	1.3090	0.7523
SYD-NY High	103.54	1.1166	115.43	0.9863	1.3158	0.7533
SYD-NY Low	102.87	1.1123	114.71	0.9817	1.3062	0.7490
NY 5:00 PM	103.42	1.1158	115.38	0.9839	1.3137	0.7520
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.995/14.53		△25RR	0.240	Yen Put Over	

NY DOW	18,400.88	▲ 53.42	債券市場	日本2年債	-0.1960	0.1bp
NASDAQ	5,213.22	▲ 9.77		日本10年債	-0.0630	1.2bp
S&P	2,170.95	▲ 5.17		米国2年債	0.8053	0.8bp
日経平均	16,887.40	162.04		米国5年債	1.1977	2.1bp
TOPIX	1,329.54	16.73		米国10年債	1.5800	1.4bp
シカゴ日経先物	16,925	60.00	為替市況	独10年債	-0.0650	2.6bp
ロンドンFT	6,781.51	▲39.28		英10年債	0.6420	0.4bp
DAX	10,592.69	▲64.95		豪10年債	1.8240	▲1.3bp
ハンセン指数	22,976.88	▲39.23		USD/CNH	6.6915	▲ 0.0025
上海総合	3,085.49	10.81		ドルインデックス	96.00	▲0.05
USDJPY 3M Vol	12.70	▲0.36%	商品市況	CRB指数	180.207	▲2.62
USDJPY 6M Vol	11.88	▲0.45%		NY金	1,311.400	▲5.10
EURJPY 3M Vol	11.35	▲0.16%		WTI	44.700	▲1.65
EURJPY 6M Vol	11.20	▲0.10%		Dubai Spot	44.83	▲1.65

東京	東京時間のドル円は102.87レベルでオープン。日経平均株価が前日比プラスで寄り付きその後も上昇幅を拡大する動きとなるとドル円も連れ高となり103.26まで上昇。しかし、月末の本邦輸出勢による円転フローも意識され伸び悩むと、その後は103円ちょうどを挟んでのもみ合い推移となった。布野日銀審議委員が物価目標2%の早期実現を目指し「3次元の緩和手段を総動員する。」と発言したことが報じられたが相場への反応は限定的となった。引けにかけてはやや買われ、103.17レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は103.17レベルでオープン。米利上げ観測が浮上する中、浜田内閣官房参与が為替介入や外債購入は「リーガルには許されている」と発言、また、1ドル=100円という水準については「介入するときには良いきっかけとなる。」と述べたこと等も材料視され、1ヵ月ぶりの高値を更新。103.34まで上昇し、103.29レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3098レベルでオープン。英8月GfK消費者信頼感調査は、26年ぶりの悪化を示した前回値(▲12)から▲7に改善し、英8月住宅価格(nationwide)が前月比0.6%上昇と、市場予想(0.5%)を上回ったことから、英国投票の影響は思ったほど大きくないとの見方に繋がれ、ポンド買い優勢地合い、ストップを巻き込み1.3158まで上昇し、1.3134レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1147レベルでオープン。序盤はハ派で知られるローゼングレン・ボストン地区連銀総裁が「幾分早めの利上げは次の景気悪化の深刻さを緩和する」とカ派寄りの発言をしたことで、ドル買い地合いとなり、1.1130まで下落。しかし、ECB理事会メンバーの仏中銀総裁が「ECBは金融政策を慎重に運営する必要がある」と述べ、現在の政策スタンスを維持すべきとの考えを明らかにしたことで、9月ECB緩和観測が後退し、さらに独銀の合併報道(検討段階)を受け、銀行株を中心に欧州株が堅調に推移したことで、ユーロドルは1.1134レベルでNYオープン。新規材料に欠く中、1.11台前半ではユーロ買い意欲も旺盛だったが、概ね1.1130-1.1160での狭いレンジでの取引から1.1158レベルで海外市場に渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は103.29レベルでNYオープン。朝方発表された米8月ADP雇用統計は予想比上振れ、前回値も上方修正されたことから、ドル買いが優勢となり一時103.54まで上昇した。しかし103台前半では売り意欲も強く、その後発表された米8月シカゴ購買部協会景気指数は予想を大きく下回ると、ドル円は103.23まで下落した。午後に入り、週末の米8月雇用統計発表前に積極的な取引は控えられ、小幅軟調なダウを横目にドル円は上値の重い展開が続く103.42レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは1.1134レベルでNYオープン。新規材料に欠く中、1.11台前半ではユーロ買い意欲も旺盛だったが、概ね1.1130-1.1160での狭いレンジでの取引から1.1158レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月31日	08:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	7月 0.0%/-3.8%	0.8%/-3.0%
	16:15	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁発言	-	-
	16:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	18:00	欧 消費者物価指数(HICコア)-速報値(前年比)	8月 0.8%	0.9%
	18:00	欧 CPI予想	8月 0.2%	0.3%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-
	21:00	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 177K	175K
	21:30	加 GDP(四半期/年率)	第2Q -1.6%	-1.5%
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	8月 51.5	54.0
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 1.3%	0.7%

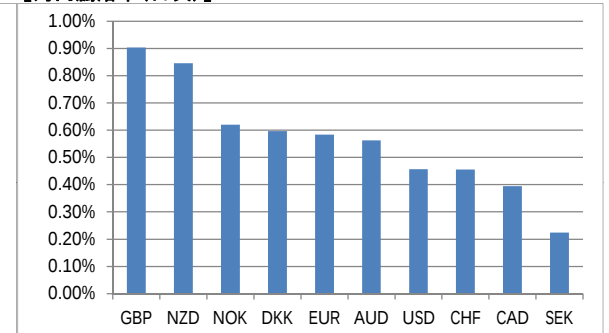
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月1日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	製造業PMI/非製造業PMI	8月 49.8/-	49.9/53.9
	10:30	小売売上高(前月比)	7月 0.3%	0.1%
	10:45	財新・製造業PMI	8月 50.1	50.6
	17:00	製造業PMI・確報値	8月 51.8	51.8
	21:30	新規失業保険申請件数	-	265K
	22:45	製造業PMI・確報値	8月 52.1	52.1
	23:00	建設支出(前月比)	7月 0.5%	-0.6%
	23:00	ISM製造業景況指数	8月 52.0	52.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.80-103.60	1.1120-1.1180	114.70-115.70

【マーケット・インプレッション】

米国による早期利上げ観測を背景としてドル/円は堅調推移が続いている。昨日は民間会社ADPが発表した雇用レポートが予想比上振れしたことで113円半ばまで達した。注意すべきことは、為替市場参加者が米国利上げについて前のめりの反応を示している一方で、金利マーケットでは年内利上げ見通しは高まっているものの9月利上げに関しては、その織り込みは高まっていないことである。やはり今週末発表される米雇用統計を確かめたいという意向が強いようだ。